



新校舎が完成したばかりの久礼田小。喜ぶべきことではありますが、思い出深い旧校舎のことを考えるとさみしい気も、そんな複雑な心境を久礼田小のお友だちが文集にしました。その中から2人紹介します。

鍋島 幸さん



坂本 和寛君

こんな旧校舎でも歴史はある、いや、こんな旧校舎だからこそ歴史はあるのだ、クラス対抗こう大な大会、あいさつのよく出来る伝統、久礼田名

私が久礼田小学校に入学したとき、一番印象に残ったことは、古いということだった。もちろん旧校舎だが、かいだんを登れば、床がギシギシと鳴く、ろうかを走れば、下にいる人へたいこの合そうが聞こえる。冬には北風の合唱、ちなみに、クレーラーまで大きく、かべやてんじようは、いろんな形のもようがある。全く、毎日が校舎のコンサトだ。

新校舎改築のために、旧校舎へぼくたちは移動しなければならぬ。イーストか机を旧校舎にもつていかなければならない。旧校舎は雨がふれば雨もりもするし、二階を走れば下にひびくし、黒板にこしやくはひつつかないし、わるいところばかりだけど、木造校舎はすきだ。

現在、新しい校舎が生まれつつある。

その校舎が亡き者となる日が近づいている、となり新しい校舎が日ごとできてくる、さみしいような感じだけど、やっぱり、新しい校舎がいいと思う。よく分からない、中間で気持ちかゆれている私。私たちが小さいころからこの学校についていた先生たちは、もつと複雑な気持ちなのだろう。人の気持ちの深いところは、自分自身でも分からなくなったりする。

鉄きんコンクリートの校舎が二つもたつたらいやなきがする。木造をこわしたくない。木造にたてかえればいいのになと思う。木造がやすければいいのにな、鉄きんはいやだ。木造は、あるくとギシギシとかいうところと木と木の間が開いてきているところがある。今にもこれぞそうなのところとか、よこたえてまっくろくくなっているものもある。戸もあきにくくなっている。けど旧校舎のそこがすきだ。



CLUB
くらぶ



香南中女子バドミントン部

今まで続けられたのは、強くなりたいたいという気持ちがあったからだと思います。仲間にはいろいろ助けてもらいました。根性があるといわれるようになったのがうれしいです。
(キャプテンの長崎さん)

下級生が上級生を見て先輩のようになりたいたいと思っていられるようです。上級生が良い目標となり、部内にまとまりがありますね。素直でまじめな子ほど上達が早いです。三年間もつらい練習をしてきた子たちを強くしてやれなかつたことが心残りです。
(顧問の川添先生)

バドミントンは見た目よりもハードなスポーツ。香南中バドミントン部のみんなも毎日のように厳しい練習を。でもその顔はいきいきとしています。市内の中学校で唯一のバドミントン部ですが、大会で良い成績を残せるよう頑張っています。